

てしかが



主な内容

- てしかがまちづくり人財バンク……②
- 協力隊通信……③
- 第41回児童生徒読書感想文コンクール……④
- 防災ワンポイントコーナー……⑥
- 納税は便利な口座振替で!!……⑧
- 町税などの納期限/夜間納税窓口開設……⑫

「おまわりさんに負けないぞ」

4月28日に行われた、弟子屈小学校(佐野哲哉校長)4年生による、弟子屈警察署見学での1コマ。さすまたを使い、不審者役の警察官の取り押さえに挑戦しました。

てしかが歴史写真館 182



過去と未来をつなぐ道

1932(昭和7)年に弟子屈村役場から発行された「弟子屈村勢一班」という印刷物があります。A2サイズが折り畳まれた形で「川上郡弟子屈村全図」が描かれています。摩周湖、屈斜路湖、阿寒湖に鐵(鉄)道、國(国)境、村界、道路といった線。温泉地名と山岳名、いくつかの集落名が書かれただけの簡潔な地図ですが、最も目を引くのは「釣鐘ノ滝」「夕榮ノ滝」という文字です。現在では、ほとんど人の往来がないこの場所が描かれている意味は、何でしょうか。

地図の反対面には、弟子屈案内が紹介されています。「景勝」という項目内の一部を抜粋します。

村内の景勝は屈斜路湖、摩周湖、跡佐登、硫黄山麓の瀾瀾園、夕榮、釣鐘の兩瀧などで何れも各異なつた風趣を持つて居りまして今や國立公園候補地として阿寒一帯と共に著名となれるは決して偶然ではありません(中略)夕榮釣鐘の兩瀧は屈斜路湖に注ぐ尾札部川の上流にありまして、阿寒湖へ通ずる山岳道路沿いにありますから此道路を辿られる方は必ずご覧になるヶ所でありますが…

この2年前に、阿寒横断道路が開通しています。車が通れる道が阿寒と弟子屈を結び、1934(昭和9)年に一帯が阿寒国立公園として指定されました。新しい道は整備を重ねてより便利になり、古い道は人々の記憶から消えていきます。

1年半ほど前、数人の仲間とともにこの2つの滝を訪ねました。人間が近づこうが遠ざかろうが関係のない、圧倒的な存在感がそこにありました。

てしかが郷土研究会(斎藤)

※林道への立ち入りには、森林管理署の許可が必要です。